

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	入居者の意思決定を大切にされており、今後は更に、入居者の方々も一緒に理念を唱和し、入居者主体で日々の生活内容を検討する機会などを作って行かれる予定である。	スタッフ、入居者が、共に理念を共有し、共に生活の質の向上を目指す。	毎朝、申し送りの後に『理念』を唱和している。その理念を入居者の視点での理念に変換し、共に唱和していきたい。そして、入居者間での自治会のようなものを立ち上げ、より入居者主体のケアに繋げていきたい。	12 ヶ月
2	2	地域の方に“話し相手ボランティア”の募集を検討されている。オレンジリングの活動を通して、地域の方々に認知症と認知症ケアの啓発活動を行うと共に、職員の更なる意識改革に繋げていければと考えている。	認知症ケアに関する啓発活動とボランティアを募集し、外部の方が来られることで、スタッフの意識改革に繋げていきたい。	認知症サポーター講習を開催し、その中からボランティア募集していきたい。認知症に対する知識があることで、ただのお手伝いではなく、より良い話し相手になり、それがスタッフの意識改革に繋げていき、ケアの質向上、入居者生活の質の向上につなげていきたい。	12 ヶ月
3	38	時に語尾が強くなる時は、ホーム長が注意している。今後も自らの言動を振り返る機会を作り、『自分だったら?』という視点で“プロのスタッフ”を目指していく予定である。個人面談も行い、個別の目標を設定を行う予定である。	スタッフ自身が、自分自身を振り返る機会を設け、個々の現状を知り、目標をもって仕事に取り組めるようにしていきたい。	個人面談や自己評価などを行い、そのうえで目標を設定していく。その中で入居者の尊厳を考えていく機会を増やしていきたい。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月